

基礎講座ニュース

第2回 生活づくり

日時 5月22日(木)①学童保育の生活と遊び

受講者 10名 考える会 2名

29日(木)②子どもの遊びと関わり、遊びの実践

受講者 12名 考える会 6名

◎講座内容

①学童保育の生活と遊び

児童福祉法や放課後児童クラブ運営指針の中に「放課後児童健全育成事業とは、(中略)授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて…その健全な育成を図る事業である」と示されています。その為、子どもの健全な育成を図るためには生活の中の「遊び」がとても大切なことから、遊びや生活づくり(見通しと流れ、生活の中で保証すべき内容)等を学びました。

②遊びの実践

放課後とは課業から放れた後の時間ということから、遊びを大切に子どもたちの興味や関心・願いを受け止めた生活を子どもたちと共につくっていくことが求められることなどを講座で学んだ後、受講者の皆さんと①割りばし鉄砲を作って遊ぶ②けん玉③コマ④かまぼこ落としを体験しました。

◎受講者からの振り返りシート・感想より(一部抜粋)

- ・指導員の役割、子どもと保護者との関わりの重要性を知れたことにより、こどもに対しては、ただ遊ぶだけではなく、こども達の成長を支えられるように日々、学習し、自分の保育に自信が持てるようにしたいと思いました。
- ・失敗しても大丈夫ということを心の中で思っていた口にする事はなかったので、これからはちゃんと口に出していった方がいいのかなと思いました。
- ・自分の保育に生かしたいと思うことは、どんなに忙しくても話しかけられた時に「今、忙しいからあとでね。」ではなくて「えーそうなの!」と興味を示して話を聞いてあげられたらなと思いました。
- ・私がこれから大切に思って行動したいことは、「遊びと生活の場」を意識しつつ、子どもたちが主役であり自ら楽しんで学童に通えること、いろいろな経験ができる事。それを少しでもサポートしてあげることができ、保護者と共に見守ることです。
- ・学童は「遊びと生活の場」であり、この中から学びも多くあるのだと改めて子どもにとって遊びは大切であると感じました。仕事を始めてからやがて1年になるのですが、今回の研修を通し少し成長している自分に気づけて嬉しかったです。
- ・(遊びの実践) いろいろな遊びを経験してみて、できたら「そうそう!」と気持ちを盛り上げて頂き、できなくても部分的にサポートして頂いたりとまさに今日の講座の「指導員と子ども」の関係を身をもって体感でき、自分の保育でもやってみようと思いました。

次回は、6月26日(木)に行われた第3回の講座について、お伝えします。